

臨床データ利用についてのお願い

課題名：SARS-Cov-2 感染歴がある（退院時陰性未確認）内視鏡検査予定者を対象とした、検査前 SARS-Cov-2 PCR 検査の意義（観察研究）

【研究対象者】

2020年9月○日以降に内視鏡検査申し込みをした、SARS-Cov-2 感染歴がありかつ退院時に陰性未確認の検査予定者

【目的及び概要】

新型コロナウイルス感染症が猛威を奮う中、厚生労働省により感染後の退院基準が設定されており、一定の基準を満たした場合は、PCR 検査による陰性確認は必須条件とされていません。理由は、PCR で検出される場合でも、感染性は極めて低いためとされています。

一方、内視鏡検査においては、検査室など密閉された空間で、高濃度の汚染されたエアロゾルによるウイルスの伝播が高頻度で起こり得ると考えられています。加えて、糞便からのウイルス排出の可能性も指摘されています。

以上より、退院後は日常生活では感染性は極めて低いとされていますが、内視鏡検査という特殊な状況下では感染リスクが否定できない可能性を鑑み、当院では、新型コロナウイルスに感染歴があり退院時に陰性未確認の場合、内視鏡検査前に PCR 検査による陰性確認を必須条件とさせて頂いています。

本臨床試験では、退院後の PCR 陽性率を検討することにより、内視鏡検査前 PCR 検査の意義を検討することを目的としています。

【研究方法】

2020年9月○日以降に内視鏡検査申し込みをした、SARS-Cov-2 感染歴がありかつ退院時に陰性未確認の検査予定者において、年齢、性別、問診票「新型コロナウイルスに感染したことがある患者さんへ」記入データ、検査前 SARS-Cov-2 PCR の結果を利用させていただきます。

【研究成果発表】

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

【研究責任者】

消化器内科：小森真人

【問い合わせ先】

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事課 電話：0798-34-5151（代表）